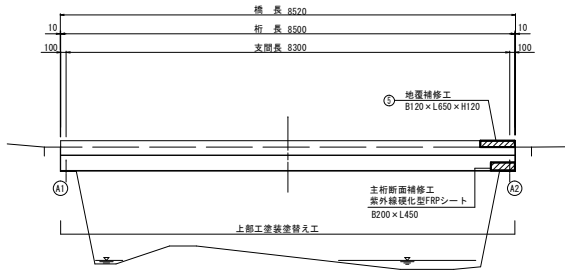


無名橋(橋梁番号_5092) 修繕工一般図

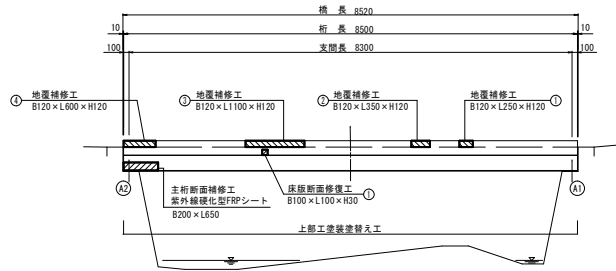
側面図(上流側)

S=1:50

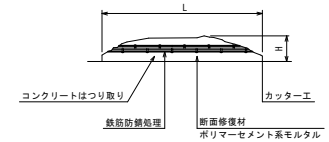


側面図(下流側)

S=1:50



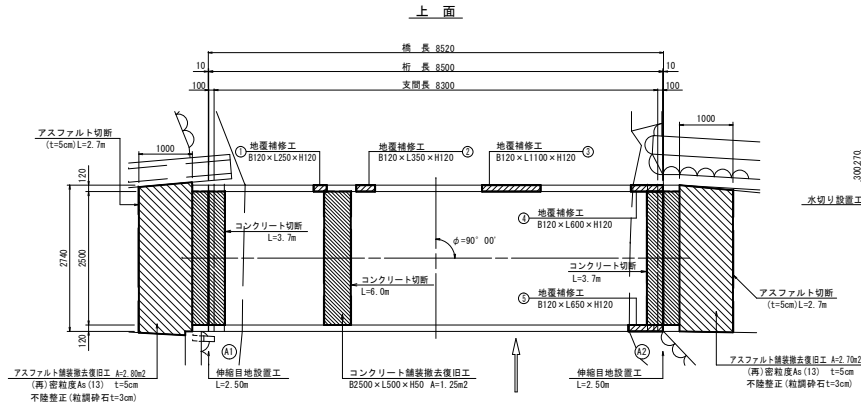
断面修復工詳細図



- ※ 断面修復については修復箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
※ 断面損傷箇所の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議すること。
※ 鉄筋防錆処理について
カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

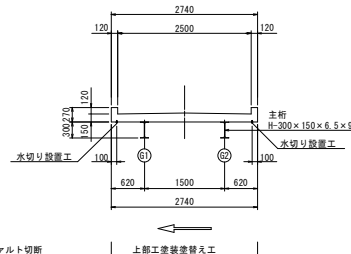
平面図

S=1:50



断面図

S=1:50



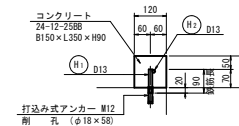
設計条件

橋 格	-
上部工形式	単純鋼桁
橋 長	8.520m
桁 長	8.500m
支 間 長	8.300m
全 幅 員	2.740m
有効幅員	2.500m
斜 角	90° 00'
桁 高	H=300mm
床 版	鉄筋コンクリート床版
鋪 装	-
支 承	プレート
橋 台	重力式
基 礎	直接基礎

地覆補修工詳細図

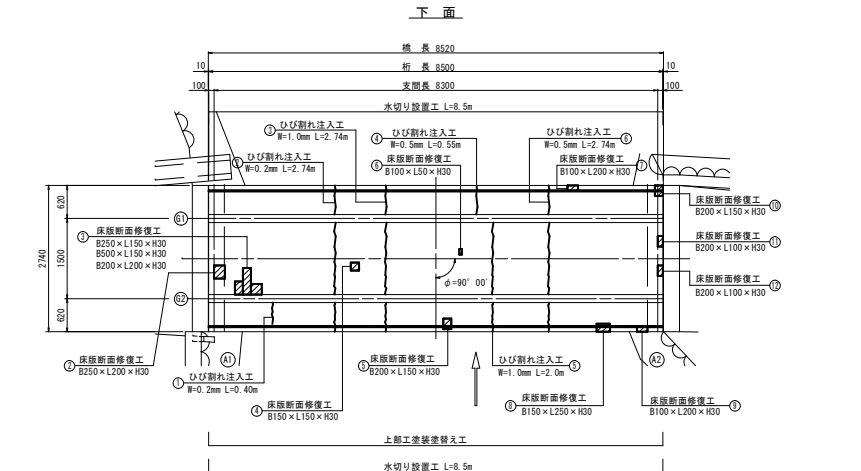
断面図

S=1:10



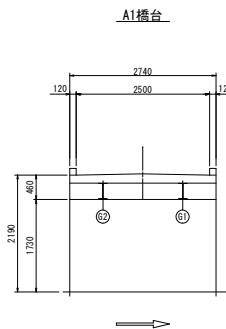
側面図

S=1:20

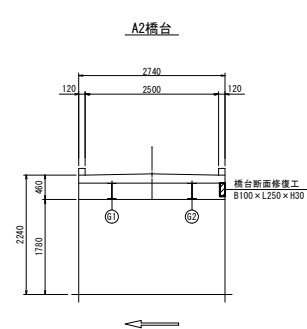


正面図

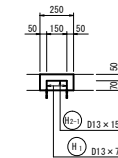
S=1:50



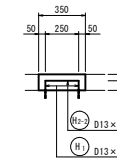
A2橋台



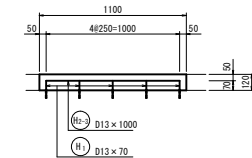
地覆補修工①



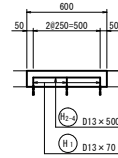
地覆補修工②



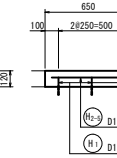
地覆補修工③



地覆補修工④



地覆補修工⑤

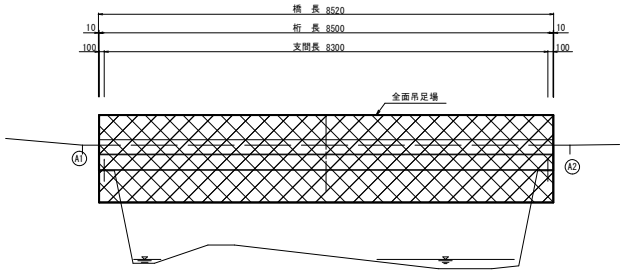


- 注記 1) 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議すること。
2) 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

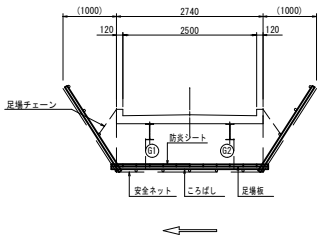
工 事 名	令和3年度 道路メンテナンス事業 無名橋(5092) 橋梁修繕工事
図 面 名	修 繕 工 一 般 図
年 月 日	
尺 度	図 示 図面番号 3 里之内 1
会 社 名	
事務所名	多 気 町

仮設足場工 参考図

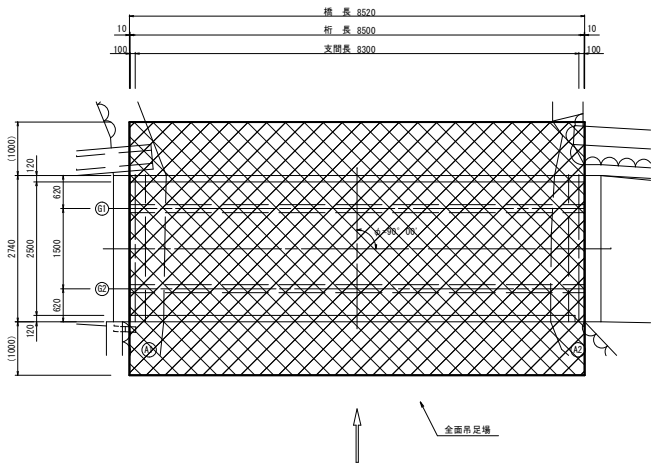
側面図
S=1/50



断面図
S=1/50



平面図
S=1/50



工事名	令和3年度 道路メンテナンス事業 無名線(5092) 橋梁修繕工事		
図面名	仮設足場工 参考図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	3 頁之内 3
会社名			
事務所名	多 気 町		